



校章

谷塚中だより

学校教育目標【学び合う生徒 思いやる生徒 高め合う生徒】

草加市立谷塚中学校

令和6年5月1日

第2号

充実した学校生活を送るにあたって

校長 森 寿義

風薫る五月となり、校地内の木々もすがすがしい新緑となりました。始業式・入学式から約一ヶ月がたちました。各教科の授業も開始され毎日意欲的に取り組んでいます。1年生は、少しずつ中学校生活にも慣れてきて、頑張ろうという気持ちが態度に出てきました。2年生は先輩としての自覚が徐々に出てきました。自分ではそう思っていなくても1年生は2年生のことを立派に頼れる先輩とみているはずです。3年生は中学校最後の学校生活をかみしめるべく、何事にも積極的に取り組もうとしている姿を目にします。

また、明日2日からは1年生の部活動も本入部となり、3学年がそろって活動します。体験入部のときには上級生が丁寧に教えている姿を見ることができ大変嬉しく思いました。谷塚中学校の校訓は「文武両道」です。5、6月は、体育祭、中間テスト、そして学校総合大会と、まさにこの二ヶ月間は文武両道を達成するにはもってこいの月となります。先輩方が築いてきてくれた歴史と伝統を継承してくれることを期待しています。しかし、毎日が楽しい、良いことばかりではありません。ただ、良いことがなかった日も「好日（良い日）」とする。それが大切であると聞いたことがあります。日々の生活には良い日も悪い日もあります。良い日を待つのではなく、毎日を良い日にしようと思うことが重要で、こう考えておくと、失敗して落ち込むような経験も、次ぎにいかしていこうと、前向きに考えることができます。

例えば、遊びに行く計画を立てていたが、急に中止となってしまうと、どうしても悪い日となってしまうますが、せつかく時間が空いたから「なかなかできなかった復習をやってしまおう」とか「普段読まない本をたくさん読むチャンスだ」と考え行動できれば、その日は「良い日（好日）」となります。人は嫌なことがあると前向きな考えがなかなかできなくなります。1日1日が良い日となるように起きたことを受け止めて、良くなかったことを振り返り、次にいかすことができたならば学期末、いや6年度末に振り返ったときに充実した1年間だったと言えるのではないのでしょうか。

谷塚中学校開校記念日 5月3日 ～開校78周年～

谷塚中学校は、昭和22年4月1日谷塚小学校の一部を借用して開校しました。（谷塚町立谷塚中学校）5月3日から、授業が始まり、この日が開校記念日となりました。校章の由来は、『谷塚はもと八塚と称したとのこと。八と蜂は音が同じである。虫を校章にするのはどうかとも考えたが、働き蜂のように勤勉であり、何事にもたゆまずはげむように社会に生き続ける生徒も意義があると考えた。』（開校70周年記念誌から抜粋）とされています。新入生歓迎会にも登場した「みっちゃ」は、生徒会が全校生徒に公募し、数多くの案の中から投票で選ばれ、発案者は、平成25年度卒業生で当時3年生でした。着ぐるみは、当時の技能員さんの協力を得て作られたものです。